

# 相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

# 38号

2010.6.12 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

## INDEX

【本号掲載分の活動】

1月23日(土)… ツツジの園再生 / 定例活動

2月27日(土)… アカマツ林再生プロジェクト / 定例活動

3月27日(土)… 第12回萌え木祭り / 定例活動

4月22日(土)… 2010年総会&竹林管理 / 定例活動

1月定例活動

### ツツジの園再生 & シイタケ菌打ち



2日前から、前線の通過で寒さが強まり小雨も降ったりと天気が心配されていた、1月23日(土)恒例のツツジの園再生作業を行いました。集まった会員は18名。毎年整備する場所を変えながらの作業で、今年は集いの広場北側奥の尾根周辺を整備しました。ち

ようどウッドデッキの場所から斜面を登りきった位置にあたります。



▲ツツジの園再生作業のようす

ヒサカキやソヨゴなどの常緑の中低木を除伐するとその下に地面を這うように生き残ったツツジが出てきます。ツツジの生育には日当たりが大切です。

事前に真弓さんから解説を受け、今年日照を受け来年の花芽がやっと成長し、花が咲くのはその翌年であることを知り、森の作業の楽しさを気長に待つことになります。

お昼は、これも例年の楽しみとなった野浪さんの自家製餅と今年はぜんざ

いを作ったの豪華版となり、皆元気がいっぱい。

昼からは、これも恒例のシイタケの菌打ち作業です。秋に除伐したコナラのほど木にドリルで穴を空け、ゴムハンマーで駒菌を打ちこみます。初めて菌打ちを体験する会員も多く、ドリル班と菌打ち班に分かれ、夢中で作業すること、約1時間。この菌打ちもシイタケが出るまでにほぼ二年がかりと、気長に待つ森の楽しみその2となりました。(大館)



▲シイタケ菌打ち作業のようす

## 森くらぶの『ガイドブック』作製中!

今年度、区の助成を受け、オアシスの森の魅力や、森くらぶの活動を紹介する『相生山緑地オアシスの森ガイドブック』を作製することになりました。

A2サイズ両面フルカラーで情報量たっぷり。ポケットに入るサイズに折りたたんであるので、持ち運びにも便利。…ということで、出来上がりがとっても楽しみですよね!

実はこの話、昨年の秋頃から持ち上がりまして、いずれにせよ、これまでのパンフレッ

トが森くらぶ発足当初に作製したもので、更新が望まれていたものですから、最悪は自腹覚悟で準備に取りかかることになりました。

具体的な作業は年明けからでしたが、会長以下数名のスタッフで編集会議を重ねて内容を練り上げ、助成が決定した4月以降は印刷業者さんとも入念にやりとりしながら、着々と作製作業が進行しています。

まもなく完成予定ですので、皆さん乞うご期待 (^o^)/

